

経済日誌2008年6月

(注:1DH(ディルハム)=約 14 円)

1. モロッコ国内経済

(1)国際収支等

①在外モロッコ人からの海外送金¹

- ・現在、海外在住のモロッコ人は人口の約 10%にあたる 300 万人超。
- ・海外送金金額の推移:
180 億 DH(1997 年)、480 億DH(2006 年)、550 億DH(2007 年)
- ・(在外モロッコ人からの)海外送金のうち、大半は家庭消費のために使用されており、直接投資に活用される割合は、全体の 7.7%に過ぎない。
- ・(参考)世銀レポートによれば、在外モロッコ人から本国への海外送金額(2007 年)は、67 億ドルに達し、送金規模はMENA地域(中東・北アフリカ地域)でトップ、第 2 位はエジプトで 63 億ドル。²

(2)指標等

①2007 年の経済成長率³

- ・2007 年の経済成長率は 2.7%
- ・農業部門の成長率は、マイナス 20.8%(前年の成長率は、プラス 25.3%)
- ・非農業部門の成長率は、6%(前年の成長率は 4.7%)

②2008 年の経済成長率予測⁴

- ・計画庁は、2008 年の経済成長率予測値を 6.8%から 6.2%に下方修正。

③2008 年 4 月の物価上昇率⁵

- ・モロッコ中央銀行発表によると 4 月の物価上昇率は年率換算 3.7%(2 月: 2.4%, 3 月: 3.2%)

④2007 年消費に関する世論調査⁶

- ・計画庁は 2001 年に比べてモロッコ人の生活環境は改善と発表。
- ・貧困率⁷の減少

¹ エコノマップ(6月5日)、Morocco Business News(www.moroccobusinessnews.com) (6月12日)

² エコノマップ(6月11日)

³ エコノマップ(6月10日)

⁴ エコノマップ(6月13日)

⁵ エコノマップ(6月18日)

⁶ マグレブ・アラブ・プレス(6月26日)

15.3%(2001 年) → 9.0%(2007 年)

都市部貧困率: 7.6%(2001 年) → 4.8%(2007 年)

農村部貧困率: 25.1%(2001 年) → 14.5%(2007 年)

・一人あたりの年間消費額の増加

8,280DH(2001 年) → 13,897DH(2007 年)

都市部: 10,642DH(2001 年) → 13,897DH(2007 年)

農村部: 5,288DH(2001 年) → 7,752DH(2007 年)

年間消費額は年率 5.1%の増加(物価上昇の影響を除いた実質上昇率は年率 2.3%)

(3) 公共事業等

① 建築資材の価格上昇(6 月 1 日現在)⁸

・価格上昇した資材

・砂 1m³の価格: 250DH(2006 年: 1500DH)

・鉄筋用丸鋼材 1 キロの価格: 13DH(2007 年: 9DH)

・板ガラス(6 mm 一枚)の価格: 1,200DH (数ヶ月前までは 800-900DH)

② モハメッド5世空港向け風力発電所の建設⁹

・モロッコ航空公社(ONDA)と NAREVA Holding は出力 10MW の風力発電所を建設することで合意。10MW は、モハメッド5世空港の電力需要量の 90%の出力に相当。

③ モロッコ鉄道公社向け風力発電所の建設¹⁰

・モロッコ鉄道公社と NAREVA Holding は、出力 50MW の風力発電所を建設することで合意。2010 年に完成予定。

④ モロッコ水道公社(ONEP)がカサブランカ近郊のBerrechidに下水処理場を建設¹¹

・2008 年夏から稼働予定で裨益者は 10 万人

・投資額: 1 億 4500 万 DH

(4) 産業

① サウジアラビア系石油精製会社Samir社 の 2007 年の業績¹²

・純利益: 4 億 2100 万DH(前年比 3.1%減)

・年間国内販売量: 550 万トン(前年比 4%増)

⁷ 年間収入が都市部で 3,834DH, 農村部で 3,569DH以下の人の割合

⁸ エコノミスト(6月5日)

⁹ エコノマップ(6月6日)

¹⁰ エコノマップ(6月10日)

¹¹ エコノマップ(6月11日)

¹² エコノミスト(6月9日)

- ・年間輸出力:125 万トン(前年比 8.7%増)
- ・(参考)モロッコ年間石油需要量:845 万トン(5.3%増)

②燐鉱石公社(OCP)の生産能力増強¹³

- ・燐鉱石公社総裁は、肥料の国際的需要増加に対応するため、40 億ドルを投資して燐鉱石の生産設備等を増強し、10 年後の燐鉱石生産量を 5,500 万トン(現在約 3,000 万トン)まで増加させる旨発言。
- ・上記 40 億ドルのうち 20 億ドルは、燐鉱石輸送用パイプラインの建設に充当され、輸送コストの半減を目指す(現在の燐鉱石輸送は鉄道によるもの)。
- ・(参考:OCP からのヒアリング)燐鉱石の輸出価格(FOB)は、38 ドル/トン(2005 年)から、56ドル/トン(2007 年)、350-400ドル/トン(2008 年 6 月)に上昇。二燐酸アンモニウム肥料(DAP)の輸出価格(FOB)は、280ドル/トン(2006 年)から 1,200ドル/トン(2008 年 6 月)に上昇。

③Holcim Maroc社(セメント製造会社)新工場の稼働¹⁴

- ・セタット新工場が稼働
- ・年間生産量:170 万トン

(5)農業・漁業

①特定地域における貝の採取・売買を禁止¹⁵

- ・有害物質が検出されたのに伴い、下記地域での採取・売買を禁止
 - アガディール近郊 Tamri 沿岸における二枚貝
 - アカディール近郊 Imessouane 湾のムール貝養殖場におけるムール貝
 - テトゥアン近郊 Oued Negro-M' diq における貝全般

②沿岸漁業近代化計画(Ibhar計画)¹⁶

- ・投資額 50 億 DH を見込む(うち政府が 10 億DHを負担。30 億 DH は銀行からの融資、10 億 DH は漁業関係者の自己資金)
- ・小型漁船(1.6 万隻)、大型漁船(1,800 隻)に対し、貯蔵・保存設備を設置。15 年以上使用している大型漁船(800 隻)の買い換え等。

③砂糖自給率向上プログラム¹⁷

- ・4 月 22 日、政府と砂糖業界との間で署名されたプログラム。

¹³ エコノマップ(6月2日)

¹⁴ エコノマップ(6月16日)

¹⁵ エコノマップ(6月2日), エコノマップ(6月17日), エコノマップ(6月20日)

¹⁶ エコノマップ(6月13日)

¹⁷ エコノマップ(6月19日)

- ・2013 年までに、砂糖生産量を現在の 45 万トンから 65 万 7000 トン(砂糖自給率 55%に相当)に増加させることを目指す。

④2008 年 1-5 月漁獲高¹⁸

- ・1-5 月の漁獲高は、前年同期比 22%増の 33.3 万トン(主力である鰯の漁獲高増加(+38%)が寄与。タコの漁獲高も前年同期比 32%の増加)。

(6)その他

①モロッコ王国航空(Royal Air Maroc)が同社全線に電子航空券を導入¹⁹

- ・6月1日から導入。

②モロッコ全世帯の60%が持ち家世帯²⁰

- ・住宅・都市計画・国土整備大臣発表

③2007 年の総電力消費量²¹

- ・総消費量は 22,608GWh(前年比 7.1%増)

③在外モロッコ人の帰省ラッシュ²²

- ・今年の夏の在外モロッコ人帰省者は 290 万人に上る見込み。
- ・スペイン発タンジェ港着フェリーの利用客増加に備え、スペインと協力して、6 月 15 日以降運行フェリーを 30 隻に増加。

④2007 年の携帯電話等普及状況²³

- ・携帯電話加入契約数:20,029,030 台(前年比 25%増)
- ・インターネット加入契約数:526,080 台(前年比 31.6%増)

⑤タンジェフリーゾーン拡張²⁴

- ・Melloussa フリーゾーンの総面積を当初予定の 300ha から 317ha に拡張。

⑥投資誘致に向け、ハッサンII世基金補助金枠の確保²⁵

- ・土地取得、工場建設等を実施する企業に対する補助金。5 億 DH の補助金枠を確保。

¹⁸ エコノマップ(6月25日)

¹⁹ エコノミスト(6月2日)

²⁰ Morocco Business News(www.moroccobusinessnews.com) (6月6日)

²¹ エコノミスト(6月11日)

²² Morocco Business News(www.moroccobusinessnews.com) (6月12日)

²³ エコノマップ(6月24日)

²⁴ エコノミスト(6月25日)

²⁵ エコノミスト(6月30日)、エコノマップ(7月1日)

2. 諸外国等との関係

(1) 外国政府等との関係

- ①モロッコ・モーリタニア間で、運輸分野における戦略パートナーシップに合意²⁶
 - ・交通管理、自動車教習、海運・航空面での協力等
- ②モロッコ・EU間で貿易促進に向けた協定に調印²⁷
 - ・予算 69 万ユーロを投じて、貿易に関する法律・手続の調和に向け協力することで合意。
モロッコ側の裨益官庁は税関局と貿易省。
- ③第 1 回アフリカ・南アメリカ間貿易大臣会議の開催(於:マラケシュ)²⁸
 - ・65 か国が参加(約 30 名の貿易担当大臣が参加)
- ④モロッコ・ブラジル間で協力協定に署名²⁹
 - ・動物・家畜の輸出入手続簡略化に向けた動物検疫協力協定
 - ・環境・水利管理分野における協力協定等
- ⑤モロッコ・クロアチア間で二重課税防止協定を締結³⁰

(2) 外国企業との関係等

- ①モロッコ電力公社(ONE)がセネガルにおける地方電化プロジェクトを受注³¹
 - ・場所:首都ダカールから 270km 離れた Saint-Louis 地方の Dagana-Pidor に位置する 510 の農村、41,000 世帯が対象。期間 25 年の電力供給、運営管理を受注。
 - ・投資総額は 3 年間で 1,490 万ドル(うち 500 万ドルは世界銀行からの助成金)
 - ・(参考)モロッコ電力公社は、これまでにシエラレオーネの首都における電化プロジェクト、チャド、モーリタニアにおける電力供給、運営管理に参画している。
- ②米系「Jacob Delafon」グループによる投資³²
 - ・バス・トイレ設備(陶磁器)を生産するタンジェ工場の能力増強のため総額 2 億DHの投資を決定。
 - ・同グループは米系 Kohler 社の子会社

- ③仏・ア首連企業連合が風力発電所建設を受注³³

²⁶ エコノマップ(6月10日)

²⁷ Morocco Business News(www.moroccobusinessnews.com) (6月1日)

²⁸ エコノマップ(6月20日)

²⁹ エコノマップ(6月27日)

³⁰ エコノマップ(6月30日)

³¹ エコノマップ(6月2日)

³² エコノマップ(6月2日)

- ・風力発電専門会社仏系 Feolia 社とアラブ首長国連邦系アブダビ国営エネルギー会社 (PJSC 社) が企業連合を設立し、モロッコ南部 Tarfaya における 300MW の風力発電所建設を受注。

④米系 Tessera Technologies 社による投資³⁴

- ・米系 Tessera Technologies 社社長は、モロッコに Nemotek Technologies 社を設立し、携帯電話付属カメラ 1 億台／年(世界需要の 10%に相当)を生産すると発表(Nemotek 社は、CDG (モロッコ預託管理庫: 国有年金ファンド) グループ MEDZ 社の子会社。Nemotek Technologies 社に対する出資比率は、Nemotek 社が 90%)。
- ・2008 年、Nemotek 社は、Tessera Technologies 社の2つの主要技術(ウエハーレベルのカメラ技術(カメラモジュールの小型化技術)、ウエハーレベルの半導体チップパッケージング技術)について、ライセンス契約を締結(契約額不明)。
- ・Tessera Technologies 社は、1990 年設立の半導体パッケージ、マイクロ光学素子等の技術開発会社。2006 年の収益 1.96 億ドルのうち、1.59 億ドルは特許等のライセンス収入。Tessera Technologies 社からライセンス供与を受けている企業は、マイクロテクノロジー社、STマイクロエレクトロニクス社、サムスン電子、インテル、富士通、日立、松下電器、シャープ、ソニー、東芝等。
- ・Nemotek 社は、2007 年設立(ラバト市テクノポリス・パークに所在)。CEO は、前 ST マイクロエレクトロニクス・モロッコ社社長の Mohamed LASRY 氏。

⑤米系・包装容器製造大手Crown Holdings社による投資³⁵

- ・カサブランカに魚用缶詰を建設。2009 年稼働(7 億缶／年の生産)を予定
- ・なお、Crown Holdings のモロッコにおける子会社「Carnaud Maroc S.A.」社の第 2 工場(アガディール)は 2008 年 8 月に稼働予定

⑥ドイツ系TUI社がモロッコ格安航空会社Jet4youを買収³⁶

- ・TUI は独系旅行代理店で世界 30 か国に 3,500 の代理店を有する(世界第4位)。
- ・買収額は未公表。

⑦モロッコ水道公社(ONEP)が、カメルーンでの営業を開始³⁷

- ・5 月 2 日、105 の村に対する給水営業を開始(契約期間は 10 年)

³³ エコノマップ(6月13日)

³⁴ エコノマップ(6月16日), エコノミスト(5月20日), Tessera社ホームページ(www.tessera.com), nemotek社ホームページ(www.nemotek.ma)

³⁵ エコノマップ(6月16日)

³⁶ Morocco Business News (www.moroccobusinessnews.com) (6月16日)

³⁷ エコノミスト(6月12日)

⑧モロッコ銀行団が、タンジェ地中海港第 2 ターミナルのオペレーター「Eurogato-Tanger」社との間で融資契約に署名³⁸

- ・モロッコ銀行団 (Attijariwafa 銀行、BMCE 銀行、BMCI 銀行) が「Eurogato-Tanger」社との間で、6 千万ユーロの融資契約に署名
- ・「Eurogato-Tanger」社は、欧州投資銀行 (BEI) との間でも近々融資契約 (4 千万ユーロ) を締結予定

(3) 経済協力

(ア) モロッコへの協力

①モロッコと国際連合食糧農業機関 (FAO: Food and Agriculture Organization) の間で3つのプロジェクトに合意³⁹

- ・モロッコ対象: 山岳地域における製品開発 (サフラン等) に 283,000 ユーロ
- ・モロッコ対象: 農産物の品種・品質管理システム開発に 273,000 ユーロ
- ・モロッコ・チュニジア対象: 雑草対策に関するプロジェクトに 259,000 ユーロ

②モロッコ・イスラム開発銀行間で戦略パートナーシップ構築に係る覚書きに署名⁴⁰

- ・サブサハラアフリカの人材育成および技術向上が目的。

③モロッコ・イスラム開発銀行間で借款契約に署名⁴¹

- ・タザーウジダ間高速道路建設に係る借款契約 (約 1.6 億ドル) に署名
- ・イスラム開発銀行のモロッコに対する経済協力は 1976 年に始まり、これまで約 30 億ドルの協力を実施。協力分野は、ダム建設、農業開発、地方電化、給水、地方道路、識字教育等多岐にわたる。

④世界銀行がモロッコ電力公社 (ONE) に借款供与⁴²

- ・送電網の強化等に 1.5 億ドルの借款 (借款期間: 25 年 (グレースペリオド 5 年を含む))
- ・行政改革に 1 億ドルの借款

⑤アフリカ開発銀行がモロッコに借款供与⁴³

- ・行政改革に 6600 万ユーロの借款。
- ・アフリカ開発銀行は 1970 年以来これまでに 96 案件総額 55 億 4 千万ユーロの借款を行っている。

³⁸ エコノマップ (6月20日)

³⁹ エコノマップ (6月4日)

⁴⁰ エコノマップ (6月5日)

⁴¹ エコノマップ (6月5日)

⁴² エコノマップ (6月12日), エコノマップ (6月24日)

⁴³ エコノマップ (6月26日)

(イ)モロッコからの協力

①モロッコがニジェール経済・社会・文化評議会に無償援助⁴⁴

- ・パソコンなどの電機機器や移動用車両購入用に 500 万 DH を供与。

⁴⁴ エコノマップ(6月19日)